橋文化

VOL.63 2025.10.15

[発行所]公益財団法人豊橋文化振興財団 [連絡先] 豊橋市西小田原町123 TEL (0532)39-5211 FAX (0532)55-8192

10月に入りましたが、日中の陽射しは強く、残暑と呼ぶには収まりきらない、何とも形容しがたい暑さを感じさせます。それでも朝晩には秋の冷気が訪れ、虫の 声が静かに響く季節となりました。今号では、日々の研鑽を重ね、豊橋の文化発展に寄与された方々を称える「豊橋文化賞」「豊橋文化奨励賞」 受賞者のインタ ビューを掲載しています。文化を志す人々にとって示唆に富むお言葉を数多くいただきました。ぜひご一読ください。

豊橋文化祭2025開会式典を開催しました。

令和7年度豊橋文化賞に中野貴康さん、豊橋文化奨励賞に北沢美白さんが選ばれ、表彰されました。

令和7年9月27日(土)、豊橋文化祭の幕開けを飾る開会式典が豊 橋市公会堂にて開催されました。

式典は津軽三味線雅會による迫力ある演奏で幕を開け、続いて長坂 尚登豊橋市長の開会宣言、伊藤晴康副理事長の挨拶がありました。そ の後、豊橋文化賞および豊橋文化奨励賞の表彰、地域文化振興活動 功労賞や郷土文芸作品入選者の表彰が行われました。豊橋文化賞・豊 橋文化奨励賞の受賞者からは、心に残る素晴らしい挨拶があり、会場は 温かな拍手に包まれました。続いて、小原昌子豊橋市議会議長から祝 辞がありました。

その後、豊橋吹奏楽団による記念公演が行われました。「マツケンサ ンバⅡ」や「サザンオールスターズメドレー」など多彩な楽曲が披露され、 アンコールでは「情熱大陸」が演奏されました。多くの来場者が、華やかな音色に包まれたひとときを楽しみました。



豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞 受賞者インタビュー

豊橋文化賞 中野貴康さん

(津軽三味線雅會 家元) 中野さんにお話を伺いました。

- 津軽三味線との出会いは?

実は昔、歌手になりたかったんです。い わゆるフォークソングですね。若い頃、ギ ター 1本を持って東京に出ました。本当に 無計画だったので、早々にあきらめて帰ろ うかと考えていた時、以前の働いていた伊 良湖ビューホテルで知り合ったバンドマン のリーダーを思い出し、電話したところ東京 の音楽事務所を紹介してもらいました。

その後、オーディションなどを受けている うちに銀座のクラブの社長にバンドマンと して引き抜かれたのですが、その社長が民 謡好きで、民謡酒場に連れて行ってもらっ たとき、津軽三味線奏者の五錦竜二先生 に出会いました。

当時はまだ津軽三味線は今ほど知られ ておらず、私もそのとき初めて聴いたので すが、その迫力に衝撃を受けてしまい、完 全に惚れ込んでしまいました。それまでの 三味線のイメージといえば「ちんとんしゃ ん」だったので、本当に驚きました。その後 すぐに弟子入りし、津軽三味線に本腰を 入れて取り組むことを決めました。

- その後、豊橋で教室を開かれたのですね。

豊橋に戻ってからも東京に通って稽古 を続けながら、自身の教室を開きました。今 ほど知られた楽器ではなかったので、生徒 集めには本当に苦労しました。最初の頃は 津軽三味線を背負ってバイクに乗り、一軒 ずつ訪ね歩きました。今やっていたら怪しま れるかもしれませんが(笑)、当時はそれで少 しずつ生徒が増えていきました。民謡ブー ムの追い風や、多くの良い出会いにも恵ま れ、現在では豊橋・浜松・名古屋に約30の 教室を構えるまでになりました。

生徒から多くのコンクール入賞者を 輩出されています。指導で大切にしている ことは?

大仰なことは何もないのですが、子ども を感情的に叱らないことだけはずっと守っ ています。津軽三味線が嫌いになってし まったら元も子もありませんから。ここに 通った子どもの誰に聞いても、きっと誰も 私のことを「怖い」とは言わないと思います よ。顔は怖そうですが(笑)。

また、基礎はしっかり身に付けてほしいと も思っています。昔、著名な俳優が「教え る極意は、学ぶ気にさせることだ」と言って いたのですが、まさにその通りだと思ってい ます。生徒が楽しく稽古に通えるように工 夫しています。

- 作曲活動もされています。

津軽三味線の始祖・仁太坊の生涯を 知ったとき、この人を称える曲を作りたいと 思ったのがきっかけです。人にも恵まれ、プ ロのシンセサイザー奏者やアレンジャーの 協力を得て、実現することができました。津 軽三味線の奏者は3本の糸という制約か ら、ある時期に楽器の表現に限界を感じ る時期があります。私の場合、そうした時期 にライフワークとして作曲にも取り組みまし た。しかし、様々な楽器を知ると逆に津軽三 味線ならではの魅力にも気がつくことになり ました。力強い打撃音や、「サワリ」という独 特の音響構造は、津軽三味線にしか出せ ない音色です。

三味線の皮も開発されたと伺いました。

三味線の皮はもともと犬の皮です。以前 は私のところでも犬皮を仕入れて加工して いたんですよ。しかし今の子どもたちはそこ に抵抗を感じる子も多いです。人工皮は昔 からありましたが、当時は音がまったく響か ず、やはり本皮でなければという意見も根 強いです。

でも常識を疑い、思い切って開発に踏 み切りました。あらゆる素材を取り寄せて試 し、様々な工場を訪ねて専用圧縮機の製 造を依頼するなど試行錯誤の連続でした。 その結果誕生した人工皮「風音(かざね)」 は、今ではプロやセミプロなら知らない人が いないほどの認知度となり、全国から依頼 も来るようになり主流になりつつあります。 知られざる豊橋発の商品です(笑)。

-最後に、これからの目標や夢をお聞か せください。

もちろん次世代を担う子どもたちを育て たいという思いはありますが、今特に強く 思っているのは、三味線という楽器そのも のの姿を残したいということです。というの も、演奏する人も減り、三味線をつくる職 人も高齢化し、製造会社や周辺の道具を 扱う店も年々少なくなっており、演奏する人 とつくる人、支える人たちのつながりが、少 しずつ失われつつあります。

近い将来、楽器そのものが手に入らなく なるかもしれない――そんな危機感を持っ ています。三味線という楽器の姿がこれか らも長く残っていくように、自分にできること を少しずつでも続けていきたいと思ってい

豊橋文化奨励賞 北沢美白さん

(面司 如意ノ坊 三世) 北沢さんにお話を伺いました。

一 幼少期から伝統文化に関心がありま したか?

私の父が世界史の教員でしたので、幼 少期から自宅には歴史の書物や図録、美 術書が溢れていました。父にとっては半分 仕事でしたが、京都や奈良に旅行に連れ ていかれることも多かったです。また祖父 母は能楽を嗜み、父方の祖母も茶人を目 指した時期があったと聞いています。そうし た環境でしたから、伝統文化は物心ついた ときから身近であったと思います。

一 京都の大学に進学したのは幼少期か らの影響でしょうか?

実はそこは少し違っていて、高校時代 は陸上競技に打ち込んでおり、陸上の特 待生として京都の大学に進学しました。当 然、大学入学後も陸上に力を注ぎました。 もっとも、中学と高校の美術の先生達から 「君は芸術家になるよ」と予言めいたこと を言われたことがあり、それは心の片隅に 残っていました。でも陸上で大学進学した わけですし、芸術とは縁のない人生になる のかと感じていました。

それでも、陸上部のポスターは全部自 分がデザインしていました。そして大学4年 生のときに、一度チャレンジしてみようと1 年の猶予期間をもらい創作活動に取り組 みました。グラフィック作品を制作して銀座 のギャラリーに出展したところ、ある方が私 の作品で目を止め「君の探しているものが うちにあるかもしれないよ」と言って去って いかれたんです。その時はその方が誰なの か分かりませんでしたが、住所が京都だと 分かり半年後に連絡を取り自宅を訪ねまし

京都のご自宅は工房になっていて、そこ で初めて能面を見せていただき、強烈なイ ンスピレーションが湧きました。自分の力を 伸ばせる道、自分の人生のビジョンが見え た気がしたんです。特に先々代・北沢如意 による舞台使用の能面を手にしたとき、「こ んなにイケてるもんなんや」と思いました。 -あまりに率直な感想ですが(笑)。自 分の表現したいものが、すべてここにある

— その後、すぐ能面の道へ?

はい。少しやってみようという気持ちでは なく、最初から「自分は能面師になる」と信 じて取り組みました。今思えば若気の至り かもしれません(笑)。ただ、その後能面師 として北沢流を継ぐという話になった際に は、迷う気持ちがありました。背負うものが 多すぎますから。個人作家として自由に活 動したいという気持ちとの葛藤ですね。け れども先代から「能面を作り続けるなら北 沢を名乗ってほしい。社会への貢献という 意味でも名を継ぐべきだ」と言われました。

伝統の世界は作って終わりではありませ ん。作ったものを長く保守していく責任があ ります。場合によっては一代で終わらない 仕事もあります。能面もまた適切に保守さ れ、長く使われることで価値が増していくも のです。北沢流の作品であれば代々受け 継いで保守されます。それはいわば品質保 証であり、それこそが伝統文化の継承であ り、社会貢献であると。そのように考え、北 沢を名乗れば当然厳しい目で見られること になるのですが、その事も含めて、使命感 を持ち北沢流三世を名乗らせていただきま

- 令和7年に安久美神戸神明社の鬼 祭り新面更新がすべて終わりました。苦労 された点はどんなところでしたか?

この事業は平成28年にお話をいただ き、調査や試作を経て令和元年から製作 を始め、令和7年に完了しました。足掛け9 年にわたる仕事です。その間、技術的な面 もさることながら、やはり大変だったのは気 の持ちようだったと思います。

能楽もルーツをたどれば神事や祭事であ り、その根本には信仰があります。昔は仏 像を作るのに人は命を賭けて取り組みまし た。しかし現代では、お祭りというとどうして もフェスティバル的な楽しみとしての感覚 が強くあります。その意識の落差をどう埋め るかが大きな課題でした。

そこで食事制限、参籠潔斎といった行 動を通して自分の気持ちを高めていくので すが、その過程で気がついたのは、かつて 堅苦しいと感じていたお茶の作法や能楽 の所作が、実は自分を高めるための方法 論だったということです。所作は命懸けで 取り組む姿勢を具体的な行動として示して いるのだと気が付きました。堅苦しいと感じ たのは実は"重い"という感覚で、重いのは 当然のことだと思いました。

新面更新としての仕事は終わりました が、もちろんこれで終わりではありません。 完成した面を維持し、後世につなぐ責任が 始まったにすぎません。私の代で終わらせ るのではなく、きちんと後継者につないでい くことこそが大切だと考えています。

– これから先の将来の展望をお聞かせ

これまで本当に多くの出会いに恵まれ、 おかげ様で真っ当な仕事をさせていただい てきました。特別に大きな夢があるわけでは ありません。初めて能面を手にして感動し たときに見えたビジョンが、今も自分を導い ています。そのビジョンに沿って仕事を続け たい。そして、本物をつくり続けたい――た だ、その思いだけです。

今号の一枚

TAKUTO

タイトル:コイと花のだるま(273mm× 220mm) キャンバス、デジタル

だるまの中に、花やコイなどカラフルで ちょっと毒がある、優しい絵を描きまし た。見ている人が元気になるような絵 が得意です。

展覧会情報 「TAKUTO展―私の好き な世界─」 ◆日時/令和7年10月15日 (水)~22日(水)10時~18時 ◆ 会場/アートエイジギャラリー (豊橋市向 山西町3-2東海フレーム2F)



第67回邦楽大会を開催します。

今年の豊橋邦楽大会も昨年に引き続き、豊橋市公会堂、穂の国とよはし芸術劇場で 開催します。ぜひご来場ください。

₩日本舞踊の部

▶開催日時/令和7年11月30日(日)午後0時30分開演 ▶会場/ 穂の国とよはし 芸術劇場主ホール ▶入場料/ 2,000円 ▶出演団体(順不同) /満帆会、藤美

会、鯉廣会、清歌会、花柳芯喜依の会 ▶解説/成田家紫蝶

◯民踊・新舞踊の部

▶開催日時/令和7年12月6日(土)13時開演 ▶会場/豊橋市公会堂 ▶入場 料/ 1,000円 ▶出演団体/清昇会、新舞踊紅豊会、日本民踊研究会、民踊むらさ き会、静駒会、結月流元佳照会、浅香乃流美よし会、葵民舞研究会(出演順)

民謡・大正琴・三味線・太鼓・筝曲・長唄の部

▶開催日時/令和7年12月7日(日)午前 10時30分開演 ▶会場/豊橋市公会堂 ▶入場料 / 1.000円 ▶出演団体/琴 城流大正琴振興会豊橋支部、三河太鼓美 友会、伊藤民謡会、みついと会、琴修会豊 橋東、峰と海の会、つゆくさの会、絲結、奥 田久子社中、筝曲加藤僖子社中、松の実 会、筝曲みどり会、筝こでまり(出演順)



\ VOL.21

文化薫る町の美術館 斧路朱音

東京都大田区に仕事で三日間赴くこ とになった。せっかくなので前日に上京し、 『三菱一号館美術館』で開催中の企画展 「ルノワール×セザンヌ」を鑑賞することに した。オランジェリー美術館とオルセー美術 館のコレクションから選抜され、日本に空輸 された逸品たち…会場に一歩足を踏み入 れると、モダンを拓いた巨匠2人の寡作が、 <静物画><風景画><人物画>と順を 追って、ジャンルごとに比較展示されてい る。意図的に個性の違いを見せようという 趣向だ。目に留まったセザンヌの《青い花 瓶》(オルセー美術館蔵)をケイタイでパチ リ。ルノワールの華やかで生気溢れる花々 の表情とは対照的だが、抑制の効いた描 写が好ましい。



パスタン<マッシュポテト><厚焼き玉子 >が載りバケットは、おかわり自由だ。

店を出て、日本橋のギャラリーを2軒ハシ ゴしたのち、京浜東北線に揺られて本来 の目的地<JR大森駅>に着いた。西口で "馬込文士村散策のみち"を示す大きな 看板(地図)を発見…閑静な住宅地となっ ている大田区山王、馬込、中央一帯(大森

駅から西側の地域)には、大正末期から昭 和初期にかけ、多くの文士や芸術家が関 東大震災後に移り住み、互いに親交を深 めていた。そのため、この辺りが「馬込文士 村」と呼ばれるようになったという。文士たち の記念館や居住跡案内板があり、彼らの 足跡を訪ねることができる。一度ゆっくりと 巡ってみたいと思うが、時間もないので『大 田区立龍子記念館』をピンポイントで訪ね ることにした。大正・昭和を代表し、近代日 本画の巨匠と讃えられる川端龍子(かわば たりゅうし)の作品を収蔵・展示するタツノオ トシゴを象ったような施設…龍子本人が喜 寿を記念して自ら設計し、1962年に建立。 会場芸術を標榜したスケールの大きな作 品群は、観覧者を圧倒する。現在、記念館 は大田区に引き継がれ、画家の志を継承し ている



日も暮れて きたので、大 森市民に愛さ れるレトロな居 酒屋『蔦八』 の暖簾を潜っ た。年季の入 った木製カウ ンターは創業 当時のものだ という。名物の

た。鶴岡政男

(1949) を

はじめ、中村

宏《砂川五

番》(1955)

や高松次郎

《扉の影》

(1968) など

それぞれの時

代を彩った名

作が並ぶ。

《煮込み(ゆで卵、豆腐入り)》をツマミに 生ビールで喉を潤し、夕食は定番の『日高 屋』で軽く済ませることにした。翌日から始ま るハードな作業に備えて、早めに就寝。

仕事は順調に進み、最終日は時間に余 裕ができたので、京浜東北線と地下鉄を乗 り継ぎ<清澄白河駅>で下車して『東京 都現代美術館』を覗く…コレクション展示 室では、開館30周年を記念して「9つのプ ロフィール1935 ~ 2025」が開かれてい



展子 ■ 格司市施工技术財化工総管

*「日本画壇に挑戦し続けた革命児ー川 端龍子展」が、11月3日まで『碧南市藤井 達吉現代美術館』で開かれている。



催し物スケジュール 11 -1 月

※この予定表は予告なしに変更になる場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が 後援する催し物を中心に掲載しています。掲載 のご希望は、問合先までご連絡ください。

豊橋茶道クラブ月例茶会(担当:南坊流)

時間/10時~ 会場/豊橋市三の丸会館 会費/一般750円、会員650円(事前予約制) 豊橋マンデーナイトジャズオーケストラ 第37回定期コンサート

2日(日)

時間/16時30分~ 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/無料 トゥッティ オータムコンサート

時間/13時~ 会場/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 入場料/一般2,000円、小学生以下1,000円 第51回豊橋音楽連盟コンサート 時間/13時30分~ 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/無料(要整理券)

内容/豊橋音楽連盟会員と門下生によるクラシックコンサート 3日(月•祝)

本多正樹コンサート 豊橋市公会堂 7 時間/15時~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/ 2,500円

内容/バンド演奏によるフォークソングコンサート

第11回島倉千代子さんを偲んで歌声コンサート

5日(水) 時間/14時~ 会場/豊橋市公会堂

内容/島倉千代子さんのヒット曲の数々をバンド生演奏でお届け 裏千家六日会月釜

6日(木) 時間/9時~ 会場/豊橋市三の丸会館 会費/1,000円(一般参加可) 担当/清水宗澄

生田流筝曲 峰と海の会 筝の調べ 時間/13時~ 会場/豊橋市三の丸会館 入場料/無料 TFM合唱団 第36回演奏会 9日(日)

時間/14時~ 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/一般1,500円、高校生500円、小中学生無料 内容/千原英喜 雅の世界、心に響くポップス、ルネサンスから現代まで、混声合唱組曲「心の四季」を発表

第55回コーラスのつどい 時間/13時~ 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/無料 12日(水) 内容/市内で活動する13のコーラスグループによる合同発表会

豊橋ハーモニカ愛好会 第10回交歓演奏会 時間/12時30分~ 会場/豊橋市公会堂 13日(木) 入場料/無料

内容/ハーモニカ演奏、ハーモニカ合奏などでハーモニカの魅力を発信 時間/ 13時~ 会場/豊橋市民文化会館第1会議室 日曜短歌会

ええじゃないか!豊橋和太鼓フェスタ「響」 2025 時間/ 12時30分~ 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/無料 内容/豊橋を中心とした和太鼓団体による合同発表会。大清水しょうぶ太鼓など19団体が出演。 16日(日)

第34回吉田文楽保存会定期公演 時間/13時30分~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料

内容/吉田文楽保存会による市指定無形民俗文化財「飽海人形浄瑠璃」の公演 19日(水) 水曜短歌会 時間/13時~ 会場/豊橋市民文化会館第1会議室

人形芝居ぶんぶく おたのしみ人形劇場・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24日(月・祝)まで

時間/22日=14時30分~、23日=10時30分~・14時30分~、24日=10時30分~ 会場/豊橋市民文化会館リハーサル室 入場料/おとな1,500円、こども1,000円(3歳以上~)

22日(土) 内容/「おタネばあさんの約束」、小作品「馬方さんの拾いもの」 出演/幾田美恵子

愛知大学吹奏楽団 第58回定期演奏会

時間/ 16時30分~ 会場/アイプラザ豊橋 入場料/無料 内容/I部マーチングステージ・II部クラシックステージ・II部ポップスステージ

第55回豊舞連舞踊フェスティバル 24日(月•祝) 時間/11時~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/豊橋舞踊連盟による合同舞踊発表

全国いっせいきもの教室 無料きもの着方教室 時間/13時30分~ 会場/豊橋市三の丸会館 料金/無料

29日(土) 第6回青い花二胡楽団定期演奏会 時間/13時30分~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/前売1,000円、学生無料

薩摩瑟琶寒月演奏会

時間/ 12時30分~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/「たなばた」「こぶ取り」「川中島」「耳なし芳一」「長篠の露」「金剛石」ほか 第9回筝曲 紫雨会 [演遊会]

時間/ 13時~ 会場/豊橋市三の丸会館 入場料/無料 内容/住吉如子門下生による成果発表会。筝·三絃·十七絃·尺八との合奏で古曲·宮城曲·JPOPな

どを披露 尺八演奏ゲスト:加藤奏山 第67回豊橋邦楽大会「日本舞踊の部」

時間/12時30分~ 会場/穂の国とよはし芸術劇場主ホール 入場料/ 2,000円

出演団体/鯉廣会、藤美会、満帆会、清歌会、花柳芯喜依の会(順不同)

12 月

30日(日)

第67回豊橋邦楽大会 「民踊・新舞踊の部」

時間/13時~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/1,000円 内容/8団体による民踊・新舞踊の発表 裏千家六日会月釜

時間/9時~ 会場/豊橋市三の丸会館 会費/1,000円(一般参加可) 担当/木下宗佳 第67回豊橋邦楽大会「民謡・大正琴・三味線・太鼓・筝曲・長唄の部」

時間/10時30分~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/1,000円

内容/13団体による民謡・筝曲などの発表

豊橋茶道クラブ月例茶会(担当:裏千家今和会) 7日(日)

時間/9時~ 会場/豊橋市三の丸会館 会費/一般750円、会員650円 第134回 豊橋交響楽団定期演奏会 時間/14時~ 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/一般2,000円、小中高生500円

曲目/ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」、レスピーギ:交響詩「ローマの松」他

第29回墨心展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14日(日)まで 9日(火) 時間/9時~17時 会場/豊橋市美術博物館 入場料/無料 内容/書道作品の展示

豊橋茶道クラブ総会 11日(木)

時間/10時30分~(役員会は9時30分~) 会場/豊橋市三の丸会館 ※関係者のみ 劇団M.M.Cオリジナルミュージカル2025 「星の王子さま」・・・・・・・・14日(日)まで

時間/ 13日=15時~、14日=13時~ 会場/穂の国とよはし芸術劇場主ホール 入場料/ 3,000円~ 内容/市民参加によるミュージカル

13日(土) 人形芝居ぶんぷく 朗読会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14日(日)まで

会場/豊橋市三の丸会館 入場料/800円 第5回SONG&DANCE

時間/17時~ 会場/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 入場料/自由席5,000円 14日(日)

内容/ミュージカルショー ゲスト/ Qristafa Dion、蔡暁強 水曜短歌会 時間/13時~ 会場/豊橋市民文化会館第1会議室 17日(水)

日台音楽交流コンサート「夢に出会える宝島」 ~音が紡ぐ物語~ 時間/19時~ 会場/穂の国とよはし芸術劇場アート

20日(土) 入場料/一般3,000円、小中高生1,500円 出演/二胡:李佳穎、内藤光代 ピアノ:野畑さおり

編流豊橋支部 義士茶会 時間/9時30分~ 会場/ 宗徧流豊橋支部 ′豊橋市三の丸会館 会費/1,500円(一般参加可) 21日(日)

日曜短歌会 時間 13時~ 会場/豊橋市民文化会館第1会議室



裏千家六日会初釜 時間/9時~ 会場/豊橋市三の丸会館 会費/1,200円(当日)他(一般参加可) 担当/河原崎宗妙 6日(火)

内容/東三河在住の代表する書家93名が、流派、会派を越えて、研鑽した作品の展示

豊橋茶道クラブ初釜茶会(担当/茶道宗徧吉田流)

11日(日) 時間/9時30分~ 会場/豊橋市三の丸会館 ※要·事前予約

山田久美(Soprano)&水越宣友(Violin) ジョイントコンサート 会場/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 時間/16時30分~ 入場料/1,500円

曲目/オペラ「トスカ」より"歌に生き、愛に生き"、愛の挨拶 他 日曜短歌会 時間/ 13時~ 会場/豊橋市民文化会館第1会議室 会場/豊橋市民文化会館第1会議室

第51回 豊橋音楽連盟コンサート

― 豊橋音楽連盟会員と門下生による

豊橋音楽連盟会員と門下生によるクラシックコンサートです。ピアノ、声楽、管楽器、マリンバなどのソロ、 弦楽合奏などをお届けします。

日時/11月3日(月·祝) 午後1時30分開演(午後1時開場)

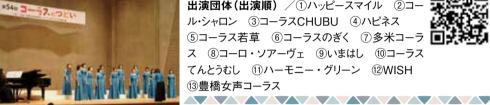
会場/ライフポートとよはしコンサートホール

入場料/無料(要・整理券) 整理券取り扱い/豊橋市民文化会館、豊橋文化振興財団事務所 (PLAT内)、オリエント楽器豊川店・豊橋店、中部楽器、カワイ豊橋ショップ、ピアノフォルテ

日時/令和7年11月12日(水) 開演:13時(開場:12時30分) 終演:15時30分頃

会場/ライフポートとよはしコンサートホール

演奏曲目を随時更新▶



出演団体(出演順) / ①ハッピースマイル ②コー ル・シャロン ③コーラスCHUBU ④ハピネス ⑤コーラス若草 ⑥コーラスのぎく ⑦多米コーラ ス ⑧コーロ・ソアーヴェ ⑨いまはし ⑩コーラス てんとうむし ⑪ハーモニー・グリーン ⑫WISH 13豊橋女声コーラス

X

創立 60 周年記念シリーズ

第134回豊橋交響楽団定期演奏会

~60年を振り返るⅡ まだ見ぬ景色へ~

日時/令和7年12月7日(日)午後2時開演(午後1時15分開場) 会場/ライフポートとよはしコンサートホール

演奏曲目/ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」、レスピーギ:交響詩「ローマの松」、エルガー: 威風 堂々第4番、エルガー:エニグマ変奏曲 指揮/渡邉浩司 入場料/一般2,000円、小中高生500円 チケット取扱い/穂の国とよはし芸術劇場1F窓口、豊橋市民文化会館、ライフポートとよはし総合案 内所、豊橋交響楽団ホームページ

■新春文化ランチタイム交流会のご案内

■と き/令和8年1月23日(金) 12時 30分~

■ところ/ホテルアークリッシュ豊橋ガーデンサ仆5階

▼会費/7,000円(1名分) ▼お申込み/各団体様宛に案内状 を送付いたします。出欠をご記入の上、ご返送ください。

▼問合せ/豊橋文化振興財団(TeLO532-39-5211)



昨年に引き続き「ランチタイム交流会」を開催いたします。日頃より地域文化を支えてくださる皆さま が、他の文化団体の方々とも交流を深め、互いの活動を知り、励まし合える機会となれば幸いです。リラッ クスした雰囲気の中で、前向きな意見や新たな発想が生まれる場となることを願っています。ぜひご参加 ください。

2026.2.22(日) ライフポートとよはし 参加者暴到 <mark>サックス奏者 福井健太さんの指揮で合奏します!</mark>

とき/令和8年2月22日(日) 12:30~17:00 ところ/ライフポートとよはしコンサートホール 対象/管楽 器・打楽器経験者(レベル不問) 定員/100名程度(申込順) 曲目/宝島、糸、遥かなる影 他 -般3,000円、高校生以下1,000円(要・申込時決済)※別途楽譜代が掛かります **持ち物**/楽器・楽 申込み/11月1日(土)からライフポートとよはしホームページより その他/事前練習会を令和 13時~16時にライフポートで行います。(希望者のみ)

で来る古き日記のページ繰るとき 内藤よりにしてきたものの浮か 特ち木曽路を行けり時を映し 円羽智子 アウロに新米パパの大谷さんホー サウス・マームラン二本放ちたりけり と寄せくる波を押し返しおり、いっとりとシャンソン歌うステージの友は八十四歳病超えゆくいとシャンソン歌うステージの友は八十四歳病超えゆくいからない。 り線状降水帯の居座るとし穴われの症状おほかた嵌とし穴われの症状おほかた嵌とし穴われの症状おほかた嵌ひとの言ふ介護後うつなる落かとの言ふ介護後うのなる落かとの言ふ介護後うのなる落かとの言ふ介護後うのなる るさを一纏めしてコンビニへ行く 黄の百合の咲きたる午後の明 日の声 河合美智子日の声 河合美智子 にのぼのとしたもの書きたしと 昭和百年の重み明治大正昭和面に宇佐美幸枝は逢うまでの時間を揺るる川はつなつの薬桜の間のこもれび しセスジスズメはふっくらまる。風仙花の柔き葉つばを食い荒らいたら へんてこ人生吾に乾杯 つらつらと思いし独り居二十年 れ頭を伸ばし無想の姿勢真夏日に甲羅干しする亀の群

横シロップ梅干し梅酒漬け終え で初夏の風総身に浴びる ださいに水無月の雨つややかに 落つ 浴のまの公園の鳥の声高く はつなつの陽のただ青々と はつなつの陽のただ青々と はつなつの陽のただ青々と 戦区行く米を求めて
▼畳橋文化短歌会 「備蓄米にはなりたくないね」田道を行けば聞こえくるごとし 日曜歌会 夏目伊代子 藤井正子青

文 化 短 信

・ 第六八八回句会 ・ 第六八八回句会 ・ 第六八八回句会 ・ 第六八八回句会 ・ 大河美智子 大河美智子 大河美智子 対子の砂山崩す夕立かな 対子の砂山崩す夕立かな 対子の砂山崩す夕立かな 対子の砂山崩す夕立かな が乗りれての青梅浸す井戸の水 大で勝英子 がいたての青梅浸す井戸の水 坂部靖子 では藤英子 大三本署き昼餉の田楽にせり りになごむコンビニ帰り りになごむコンビニ帰り りになごむコンビニ帰り が本 糸 が本 糸 が本 糸 が本 糸 が本 糸 が本 糸 がある向き梔子の香 が本 糸 が本 糸 がある向き梔子の香 早朝のジョギンロードカンナ乗り人の満つる渡しや鰯雲動市のにぎはひ今も秋茄子 落し文解きて命のこぼれけり落し文解きて命のこぼれけり 後藤青海人 後藤青海人 ちる 真造富久代と物干しざおよりしずくがお真夜中に雨がたくさんふったよく 本摩じゅんく まないとの声を聞 し吾と旅する『初めての短歌』 ブックカバー無地の表紙に裏返がかり子 田蹴りの昔遊びや鰯雲 イ展!!!! 落し文巫女に掃かれてしまひけ第六八六回句会 面を運ばれてゆく夏の雲水底を浚ひて影も移るらむ川 伊藤はつゑ 潰す里芋の苗少なき今年 ごめんねとセスジスズメを踏み 夏目伊代子 き帽子のまぶしきまひる炎天にバス待つ母子お揃ひのを 彦坂石! げの雲製造所フル稼働中もくもくと天突くいきおい 指跡の曇る秋思のスマホ 各目伊代子 田楽にせり 上がりし茄 河合澄子 白転 な